

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフリーふぶらす支援教室		
○保護者評価実施期間	令和7年9月12日 ~ 令和7年10月3日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和7年9月12日 ~ 令和7年10月3日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月20日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後デイを長く運営しているため、経験の豊富な職員が多数在籍している。	お子様の発達や支援について、経験に基づいて見通しを立てたり、保護者様にアドバイスするようにしている。	画一的な支援にならないよう、お子様・保護者様のニーズを把握し、常に新しい情報にアップデートしていく必要がある。
2	支援プログラムの充実。	偏った支援にならないよう、5領域に沿った内容のカリキュラムを通していろんな活動を提供できるよう心掛けている。	支援者がカリキュラムを提供するだけでなく、お子様同士のつながりや、お子様が主体的に参加できるような活動を検討していきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携全般（連携先、地域等）	自事業所のみで完結してしまっている取り組みが多い。	セルフプランの方が多いので、お困りごとやニーズに対してのヒヤリングを継続して行っていく。 外出支援を通して買い物支援や地域祭りを見学することはあるが、機会が少ないので今後増やしていくよう計画していく。
2	非常時の対応への評価が低い	利用契約時に非常災害対策としてご案内はしているが、継続してお知らせができていない。	通信やSNSなどをを利用して、非常災害対策や避難訓練の様子を継続してお伝えしていく必要がある。
3	保護者様同士のつながりへの対応	以前は保護者交流の取り組みをしていたが、近年お仕事などの都合で参加できない保護者様が増えているため、参加しやすい環境づくりが必要である。	保護者交流会の日程を早めにお知らせし、参加しやすいよう計画を立てる。 また、どのような内容なら参加してみたいかのアンケートをとっていきたい。